

鈴の音保育園の保育について

社会福祉法人 鈴風会

認可保育園 鈴の音保育園





ご挨拶

皆様、来年度からよろしくお願い致します。

例年でありましたら、保育園にて入園説明会を行って参りましたが本年度はコロナ禍により資料での説明とさせていただきます。昨年春からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な制限が加わり生活様式も一変しました。幸い当園では皆様の協力のもと感染は発生せず、無事に一年を過ごす事ができました。3月現在、ワクチン摂取も予定通り開始され徐々に日常を取り戻していける光明が見えて参りました。今後も何かしらの制限は続いていくと思いますが、制限された中でも子ども達のより良い生活、より良い成長に全力で取り組んで参りたく考えております。どうぞよろしくお願い致します。

保育園は毎日たくさんの園児・保護者・職員が生活を送る場です。園ごとに周辺環境や設備などによって様々なルールがあります。皆様の4月からの生活がスムーズに充実した生活が送れるよう、紙面をもって園の説明を行って参りたいと存じます。また、園の様々なルールや決まりごとは多岐に渡ります。何かわからない事がありましたらいつでも職員までお問合わせください。

これからの鈴の音保育園での生活がより良きものとなるよう職員一同保育に取り組んで参ります。どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

また、この「鈴の音保育園の保育について」は入園進級式において皆様の前で説明していた資料になりますので言葉足らずで分かりづらい部分もあるかと思いますが、どうかご了承ください。

鈴風会 理事長 高木博康
鈴の音保育園 園長 舘 盛人



理念

強く 正しく みんな 仲よく

私達、鈴の音保育園の職員は、子ども達の笑顔の為、互いに協力し愛情をもって親しく子どもに接し、子どもの個性を育むと共に次代を担う良き社会人として育つよう努力いたします。

保育方針

～日々の保育に臨む私たちの思い～

子ども達は可能性の塊です。ひとり一人の子ども達が力強く未来を切り開いていけるように私たちは保育に取り組みます。



鈴の音保育園

- 一人ひとりを大切にします。
- 思いやりと礼儀を持ち、互いを尊重します。
- 豊かな感性・知性の育成に努めます。
- 丈夫な心身の成長に努めます。
- 伝統文化を大切にします。
- 信頼のもと心落ち着ける環境の提供に努めます。
- より良い未来のため常に向上します。

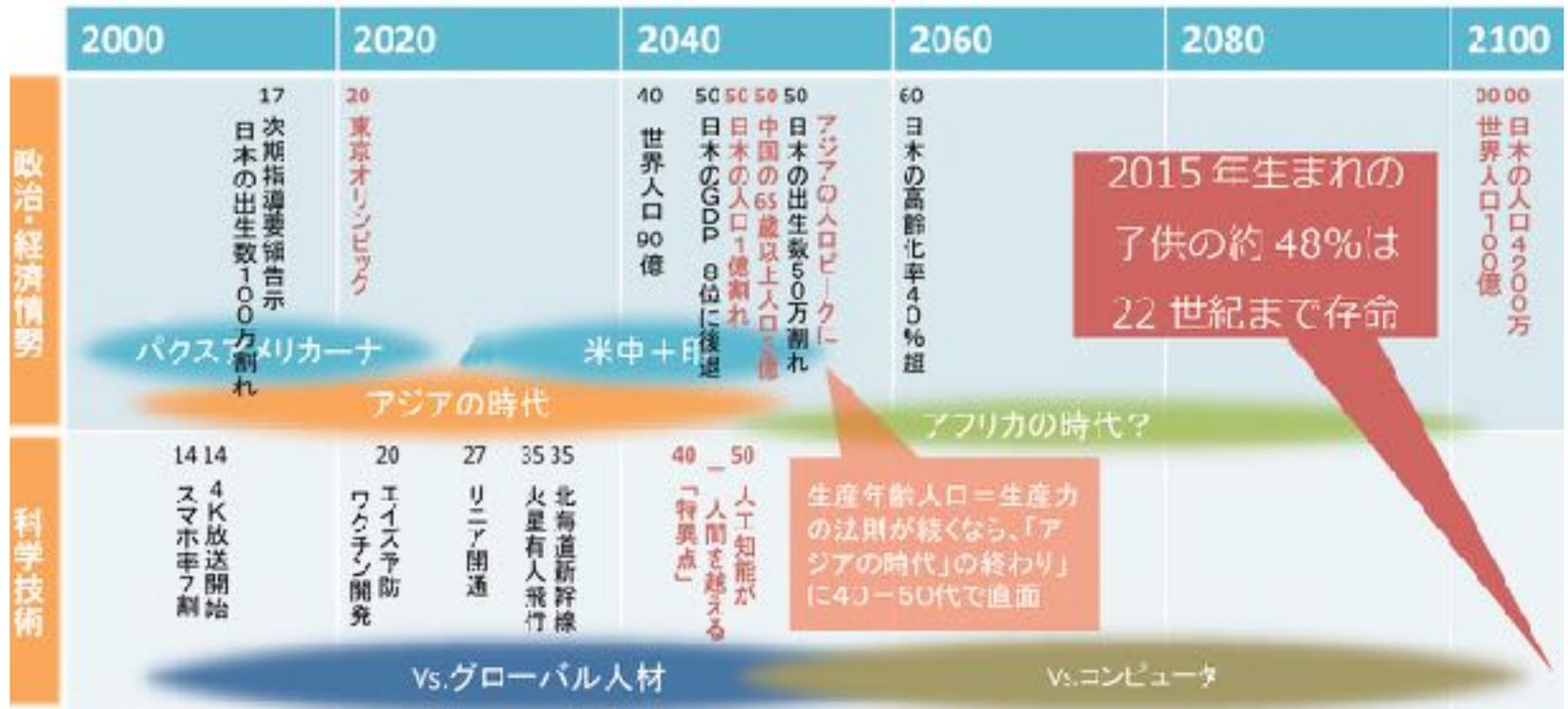
口に出る言葉

～良い歌の音が響くために～
2014年度、リボンに込められた思いを想っています。

子ども達が生きる社会とは



社会保障・人口問題研究所の推計によると、西暦2000年生まれの子ども100年後の生存率は約11.3%。2015年生まれの子供では約半数が22世紀まで存命すると示されました。





教育改革について

2018年度「新学習指導要領」の移行措置がスタートし、2020年度からは「新学習指導要領」が小学校で全面実施されます。一方大学受験も「センター試験制度」に変わり「大学入学共通テスト」実施されます。「大学入学共通テスト」では「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」も重視され入試が多様化します。

背景

今後考えられる社会の変化

- ・約半数の仕事が機械に代替えられる可能性がある
- ・今の職業の半数以上はなくなるであろう
- ・国際化により、国内経済により多くの外国人が参加する

変化の激しい時代を生きる子供たちが、社会の中で活躍できる資質・能力を育成するための改革

目的と変更点

- 「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるのか」知識を活用する力を求める「教育改革」
- ・使える英語力を目指して、学習開始年齢の前倒しし、技能取得を求める「英語改革」
 - ・学んだことの意味だけでなく、知識を活用する力・学びに向かう力も評価する「大学入試改革」



これからの子供達に身に付けさせたい力

子ども達がやがて大人になった時求められる力として、探究心・想像力・挑戦心・責任感・継続力・規律性・協調性・献身・共感力・自律性などが挙げられております。

(2015年3月 OECD調査) また近年、知識や運動能力といった「数値として計測できる能力」とは別に、「数値として計測できない力」である非認知能力が大きく注目されております。

私たちは、就学前の幼少期において、生きていく力の「根っこ」となる

「自己肯定感」「基本的生活習慣」「非認知能力」

を育てていきたいと考えています。

保育園でできる事

保育園はお子様は長期間、長時間過ごす第2のお家です。専門性を持った保育園として、得意な事も、また、そうでない事も一人一人の個性を認知しその子にとって最善の援助を行なっていきたいと考えています。

継続的な視点	成長を見通した援助
教育	健全な心身の発達のための関わり
発達	音感、体操、交流会などへの参加などの援助
環境	援助者の思いの込められた園庭、園舎



私たちの大切にしている保育について

令和3年度目標 ～日本一親バカな保育園を目指そう～

1. 一人一人が認め、認められ、信頼のもと安心して日々を送れる場所をめざして

職員は子ども達の憧れや目標になるようなマナーや立ち居振る舞い、言葉遣いを行う。

乳児・・・深い繋がりのもと、安定した生活を目指し育児担当制を行う。

幼児・・・見通しを持って生活を送れるよう、日々のリズムを大切にする。

2. 子ども達の興味や関心に気づき、豊かに展開できる場所をめざして

◇遊具

質の良いものを揃え、子どもの年齢や発達段階に応じて、相応しい遊具の提供に努める、どの時期にどの遊具を出すかを検討して提供する。

◇遊びについて

乳児・・・わらべ唄など、大人とのより良い関わりを過ごす時間を大切にする。

幼児・・・その時々子どもが興味や関心を持つ事柄を大切にする。

(室内遊び)

積み木・構成遊び・ごっこ遊び

描画・工作遊び

考える遊び・・・ゲームやパズル、絵本等

操作する遊び・・・つないだり、ひもを通したり、手先を使う遊具等

(戸外遊び)

体を使った遊び ルールのある遊び



私たちの大切にしている保育について

令和3年度目標 ～日本一親バカな保育園を目指そう～

3、絵本や物語を大切にする

子どもたちにとって絵本は、現実世界とは別のもうひとつの世界を体験させてくれる。時に豊かな遊びは、絵本の物語の中から発展する。良い絵本をたくさん経験した子どもは、人の話しを聞く力が身に付き、集中力、想像力が養われる。そのため、鈴の音文庫の充実などより本に親しめるよう取り組む。

4、地域の一員として

青梅という地に住んでいるからこそ体験できることがたくさんある。子どもたちには将来、世界に飛び立ってもらいたいと考えている。だからこそ、地元を好きになれるよう取り組む。

「幼児たてわり保育」の目的

子どもたちが年齢や発達の異なる仲間との関わりを通じ成長を促すことを目指す。
年長児・・・年中・年少児への優しさ、いたわり、思いやりと共にリーダーシップを育てる。
年中・年少児・・・年長児への憧れの気持ちを持ち、自律心、他者への許容など健全な発達を促す。



活動のねらい

園内では沢山の活動が有り、それぞれねらいがあります。

ねらいは以下の5点の目標にそれぞれ集約されます。

・知育 ・体育 ・徳育 ・季節感 ・伝統文化

日々を大切に、子ども達が喜んで過ごせるよう計画・実施します。



このような考えのもと、日々の保育に取り組んでおります。

一例：散歩、公園遊び、室内遊び、春の山菜採り（今寺水田）、ジャガイモ掘り、お花見、塩船観音、園外保育、ワールドカップ観戦、どろんこ遊び、ビーチ遊び、うちわ作り、提灯作り、サッカー大会、図書館ごっこ、雨の日散歩、お化け屋敷、かき氷作り、色遊び、炊き出し、さんま焼き、魚の解体、オリンピック遊び、横断幕作り、集会当番、宝探し、積み木遊び、けん玉、コマ遊び、初詣、初天神、七五三、鯉のぼり、スイカ割り、十五夜、ハロウィン、メンコ遊び、節分、餅つき、冬至のゆず・・・



命を預かる施設として

「安全」について

子供の成長には危険（リスク）が少なくありません。厚生労働省の統計でも乳幼児の施設において毎年重大事故が起きている事が記載されております。

当園では安全を第一に日々保育に努めておりますが、私達はすり傷など小さな怪我を恐れて遊びの範囲を狭める生活は、子ども達の成長には繋がらないと考えております。私達は危険（リスク）がある事に向き合い、その上で子ども達の成長に繋げて参りたいと考えております。ご理解のほどをよろしく申し上げます。

SIDSについて

SIDS（乳児突然死症候群）は原因は不明とされ発生率は非常に低いものです。当園としてもうつぶせ寝の防止や睡眠チェック・ルクミー（乳児用睡眠時心拍センサー）の導入などの取り組みを行っております。



保護者の皆様と共に

普段お忙しい皆様が、安心して過ごせるよう努めます。

- ・お子様がどのように保育園で過ごしたのかお伝えできるよう努めます。
- ・分かりやすい情報の発信に努めます。
- ・ご意見等ありましたら、ご意見箱、第三者委員もご利用下さい。
- ・緊急連絡用メールの登録をお願いします。
- ・新制度導入に伴い、受け入れ表にお迎えに来た時間のご記入をお願いします。

お願いしたい事

- ・遅刻・欠席の連絡は早めに、9時までの連絡をお願いします。
- ・落ち着いた環境作りのためキャラクターグッズのご使用は控えるようお願いします。
- ・保育園の開所時間は朝7時00分から夜7時00分までです。

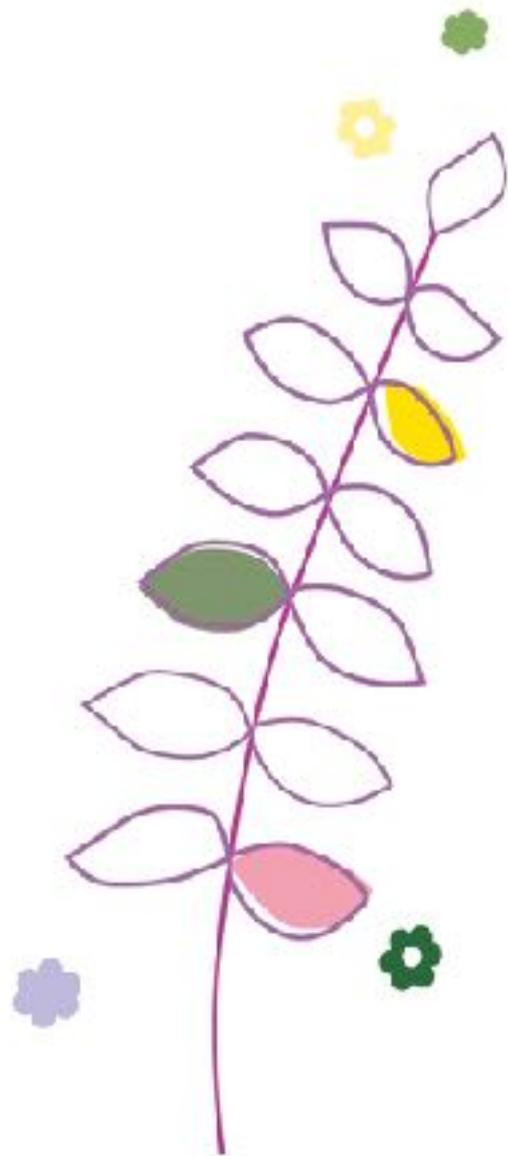
延長料金について

- ・18時01分から19時00分まで10分につき100円
- ・19時01分から15分ごとに3,000円

保育園開所時間外の保育となるため、設備の使用料・職員の超過勤務手当の実費相当を請求させていただきます。

保育時間について

保育短時間	8:30~16:30
保育標準時間	7:00~18:00



認可保育所 鈴の音保育園

東京都青梅市大門3-4-5

電話0428-31-7841

mail suzunone@t-net.ne.jp

